



### 新たな出会いを

校長 山本 和弘

校舎内に子どもたちの笑顔と歓声が満ち溢れ、平成28年度が始まりました。久しぶりに友だちや先生に会える嬉しさもあるのでしょうか、それぞれに進級した児童・生徒一人一人の表情から、学校生活に対する希望と期待を感じました。私たち教職員も新たな出会いを楽しみにしながら、新年度の準備を進めてまいりました。

さて明日7日(木)は入学式です。新たに小学部22名、中学部19名、高等部45名、合計86名の新生を迎えます。新生の皆さん、御入学おめでとうございます。平成28年度の児童・生徒数は、A部門17学級、43名、B部門46学級、253名、計63学級、296名となります。教職員は、教員系(管理職含)・行政系の正規職員が143名、非常勤教員4名、学校介護職員15名、非常勤看護師6名で、合計168名となります。なお転出入については、裏面にて確認願います。新・転入教職員を迎え、一同心を一つにして、児童・生徒の夢が叶うように支援してまいります。引き続き、保護者の皆様の御理解と御協力をよろしく願います。

次に管理職ですが、須貝栄作副校長の異動に伴い、後任として羽村特別支援学校から望月光弘副校長が着任いたしました。副校長の学部担当は、A部門が田中俊光副校長、B小学部と中学部が望月光弘副校長、B高等部が長沼健一副校長になります。最後に今年度は創立20周年を迎え、12月16日には記念式典を行います。保護者の皆様の御協力をお願いいたします。



### はじめまして

副校長 望月光弘

4月より須貝副校長の後任として、あきる野学園に赴任してまいりました望月光弘(もちづき みつひろ)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。前任校は隣の都立羽村特別支援学校です。羽村市は「花と水のまち」として、町全体が四季折々の美しい花に囲まれた町でした。さて、これからお世話になるあきる野市はどんな町でしょうか。秋川溪谷、森と清らかな空気、豊かな自然との共生といったところでしょうか。どんな生活が待ち受けているか、とても楽しみです。

このような、自然に囲まれたあきる野学園育ちの子供たちは、出会う前から豊かな心と体の持ち主ではないかと想像しています。わたくしたち教員の仕事は、ある意味ではとても明快です。子供たちが「育とうとする力」「育とうとする意欲」を如何に伸ばしていくかが責務です。そう言う意味では、学校が変わっても、わたくしたち教育を担当するもののやるべきことに変わりはありません。本校は、今年20周年を迎えます。大きな節目の年にかかわることができる幸運に感謝しながら、20年の伝統と成果を受け継ぎ、より良い教育の環境づくりに貢献できればと考えています。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

